

お知らせ

記者発表資料
配布日時

平成28年 9月9日（金）
10:00

■同時発表先：山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ

平成28年度 第1回 徳山下松港・宇部港における 石炭サプライチェーンの継続に関する検討会の開催

徳山下松港・宇部港における国際バルク戦略港湾施策の推進にあたり、今後起こりうる大規模災害や事故・テロといったあらゆる事象においても、両港を経由する石炭及び石炭を燃料として製造されるエネルギー・素材・製品の物流（石炭サプライチェーン）を継続させ、さらには、地域連携等を通じて日頃からの事業競争力強化方策を検討することを目的とした有識者検討会を開催します。

本検討会では、昨年度に提案した企業間の水平連携手法について、より具体的な連携の仕組みを提案し、想定外の事象において如何に事業を継続させるか、参加者全員が自ら考え答えを導き出すブレインストーミング（ワークショップ）を実施します。

○日 時：平成28年 9月13日（火）13:30～17:30

○会 場：国際ホテル宇部 ダイヤモンドホール（別紙－1参照）

○主な議題：（1）今年度の実施方針

（2）水平連携具体例の提案

（3）港湾地域連携強化に向けたワークショップ

（4）意見交換

※取材について

取材申込は、別紙－2にて9月12日17:00迄にFAX送信ください。

会場には報道関係者席を用意しておりますので、当日、受付にお申し付けください。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 徳山下松港出張所

0834-31-0409（代表）

【担当】

企画調整課長 かわ しま よし てる
 川 島 剛 央 （内線16）

企画調整係長 さだ しま かず お
 貞 島 一 雄 （内線26）

事務所HP：<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

会場名 案内図

会 場：国際ホテル宇部「ダイヤモンドホール」

住 所：山口県宇部市島 1－7－1

電 話：0836-32-2323



拡大図



- ・【宇部新川駅】より徒歩約 5 分
- ・山陽本線【宇部駅】よりタクシーで約 20 分
- ・山口宇部空港よりタクシーにて約 10 分
- ・山陽自動車道【宇部 IC】より車で約 15 分
- ・JR【新山口駅】より車で約 50 分 または特急バスで約 45 分

取材申込書
9月13日 第1回 徳山下松港・宇部港における
石炭サプライチェーンの継続に関する検討会の開催

平成 年 月 日

国土交通省 中国地方整備局

宇部港湾・空港整備事務所

企画調整課 川島 宛

TEL 0834－31－0409

FAX 0834－27－1458

機関名	人数	代表者の連絡先
	名	氏名 TEL

(注)手書き記入で結構です。

参考資料

徳山下松港・宇部港における石炭サプライチェーンの 継続に関する検討の概要

検討の方針

徳山下松港及び宇部港は、全国を代表する石炭輸入港であるとともに、貯炭能力や国内への２次輸送等に優れたコールセンター（石炭中継基地）機能を有しています。今後も大型船の入港に必要な港湾施設の整備促進や石炭輸送の共同配船を行うなどして、我が国の産業活動に必要不可欠な石炭を、安定的かつ安価に供給する広域拠点港としての役割を担うことが期待されています。

こうした広域拠点港としての整備が進む一方で、両港の港湾機能が麻痺するなどして石炭の供給が止まった場合、背後圏経済への影響は計り知れないものとなります。このため、本検討においては、昨年度提案した、石炭サプライチェーンの継続に向けた７つの連携方策を踏まえて、徳山下松港・宇部港を経由した石炭を利用する２次輸送先企業の石炭利用状況及び内航船の輸送形態、利用炭種（ボイラー）毎の物流・商流を把握し、より具体的な企業間の水平連携手法を提示することとします。

なお、１回目となる本検討会では、昨年度に提案した企業間の水平連携手法について、より具体的な連携の仕組みを提案し、想定外の事象において如何に事業を継続させるか、参加者全員が自ら考え答えを導き出すブレインストーミング（ワークショップ）を実施します。

ワークショップの概要

- ・参加者全員を役割毎にグループ分け（荷主、２次輸送先企業、内航船社、倉庫、港運、港湾管理者等）し、コーディネーターが付与する情報をもとにグループ内及びグループ横断的に議論を開始。
- ・議論の対象としては、コールセンター及び港湾機能が長期間停止した場合における、徳山下松港・宇部港の背後企業や２次輸送先への影響度合い（サプライチェーンの途絶等）の確認。
- ・港湾機能復旧期間中、如何にしてサプライチェーンを継続させるか、与条件・影響度合いを元に解決策を議論。
- ・さらには、災害時の連携を一過性のものにしないよう、如何にして日頃の事業競争力強化、企業価値向上につなげるか参加者全員でアイデア出しを行う。



平成 27 年度 検討会(ワークショップ)の様子

第 2 回検討会

- ・平成 28 年 11 月 18 日（金）周南市内で開催予定